

平成30年度「後期学校アンケート」の結果報告

12月に行いました『よりよい学校をつくるために～みなみアンケート～』調査の結果をお知らせいたします。

学校評価の取組は、「子どもの豊かな学びと育ちを実現するために、学校と家庭・地域が双方向の信頼関係のもとに情報や課題意識を共有し、改善する」ことを目指しています。今回も「児童」「保護者」「教職員」がそれぞれのことを振り返る自己評価という形で行いました。その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしました。今回の結果を踏まえて次年度の取組に活かしていきたいと思います。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

「みなみアンケート」について 《保護者の回答率約93.7%》

【アンケート結果】 A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない (%)

	児童	保護者	教職員
思いやりのある子 徳 (豊かな心)	学校に来るのが楽しい。 A: 60.0 B: 29.6 C: 8.3 D: 2.1	子どもは、楽しく学校に通っている。 A: 63.5 B: 32.1 C: 3.2 D: 1.2	児童が、学校で楽しく過ごせるよう居場所づくりをしている。 A: 37.5 B: 62.5 C: 0.0 D: 0.0
	進んであいさつをしている。 A: 45.7 B: 43.1 C: 9.1 D: 2.1	子どもに、友達や地域の人に進んで挨拶するよう家庭でも挨拶している。 A: 35.7 B: 56.4 C: 7.9 D: 0.0	進んで挨拶できるように、教職員自ら児童に挨拶している。 A: 65.6 B: 34.4 C: 0.0 D: 0.0
	ていねいな言葉遣いをしている。 A: 45.1 B: 45.8 C: 8.0 D: 1.1	子どもが、丁寧な言葉遣いをするよう家庭でも意識して話している。 A: 21.3 B: 59.4 C: 18.6 D: 0.7	児童の手本となるような正しく丁寧な言葉遣いや態度をしている。 A: 12.5 B: 81.3 C: 3.1 D: 3.1
	人にやさしくしている。 A: 53.0 B: 40.8 C: 4.8 D: 1.4	子どもに、友達と仲良くするよう働きかけている。 A: 43.6 B: 52.3 C: 3.7 D: 0.4	児童が仲良く過ごせるよう学級経営や指導を工夫している。 A: 34.4 B: 65.6 C: 0.0 D: 0.0
	進んでそうじをしたり、スリッパやはきものをそろえたりしている。 A: 42.1 B: 41.2 C: 14.6 D: 2.1	子どもに、掃除やはきものをそろえることの大切さを話している。 A: 22.3 B: 49.4 C: 27.1 D: 1.2	児童に、掃除の大切さやはきものをそろえることの大切さを常に指導している。 A: 53.3 B: 46.7 C: 0.0 D: 0.0
	学校であったことを、家庭で話している。 A: 51.8 B: 25.5 C: 16.4 D: 6.3	子どもが、学校であったことを家庭で話せる機会をつくっている。 A: 35.7 B: 53.5 C: 10.5 D: 0.3	児童に寄り添い、困ったことがあれば、何でも相談できる関係をつくるよう努めている。 A: 56.3 B: 40.6 C: 3.1 D: 0.0
自ら進んで学ぶ子 知 (確かな学力)	学校の授業は、よく分かる。 A: 58.0 B: 34.6 C: 5.8 D: 1.6	子どもは、学校の学習がよく分かっている。 A: 26.7 B: 60.7 C: 11.8 D: 0.8	授業がよく分かるように、めあての提示とまとめ・振り返りを行っている。 A: 29.0 B: 67.8 C: 3.2 D: 0.0
	自分で計画を立てて家庭学習（予習・復習・宿題）を行っている。 A: 43.5 B: 38.2 C: 15.0 D: 3.3	子どもに、自分で計画を立てて家庭学習を行うよう働きかけている。 A: 20.4 B: 48.6 C: 28.0 D: 3.0	児童が計画的に家庭学習を進められるよう指導している。 A: 23.3 B: 73.4 C: 3.3 D: 0.0
	進んで、読書をしている。 A: 53.9 B: 28.8 C: 14.1 D: 3.2	子どもに、家庭でも読書をするようにすすめている。 A: 27.0 B: 38.4 C: 29.6 D: 5.0	児童に、マイバッグの活用など読書活動の推進に向けて取り組んでいる。 A: 43.3 B: 36.7 C: 20.0 D: 0.0
	人の話を、最後まで聞いている。 A: 47.6 B: 43.1 C: 7.3 D: 2.0	子どもに、人の話を最後まで聞くよう働きかけている。 A: 23.4 B: 61.9 C: 13.7 D: 1.0	児童に、話を聞くことの大切さや聞き方について具体的に示して指導している。 A: 53.3 B: 43.4 C: 3.3 D: 0.0
	授業中、自分の考えを、進んで話せる。 A: 35.9 B: 36.7 C: 20.1 D: 7.3	子どもに、授業中、自分の考えを進んで話せるよう励ましている。 A: 17.8 B: 49.8 C: 28.9 D: 3.5	児童に、自分の考えを話すことの大切さや、話し方について、具体的に指導している。 A: 46.7 B: 53.3 C: 0.0 D: 0.0
	家庭で、次の日の学習の準備をしている。 A: 74.4 B: 17.1 C: 6.8 D: 1.7	子どもに、次の日の学習の準備をするよう働きかけている。 A: 35.1 B: 48.8 C: 13.6 D: 2.5	児童に、学習の準備をする大切さを指導している。 A: 43.3 B: 53.4 C: 3.3 D: 0.0

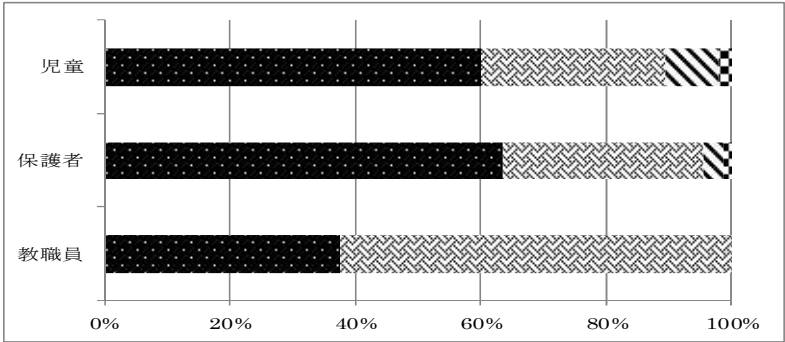
	児童	保護者	教職員
体を大切に する子 体 (健やかな体)	早ね・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身についている。 A : 44.4 B : 36.9 C : 14.5 D : 4.2	子どもに、早ね・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身につくよう、家庭で取り組んでいる。 A : 38.2 B : 46.6 C : 13.9 D : 1.3	児童に、早ね・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身につくよう、家庭と連携し働きかけている。 A : 32.3 B : 61.2 C : 6.5 D : 0.0
	外遊びなどで、よく体を動かしている。 A : 58.7 B : 24.7 C : 12.7 D : 3.9	子どもに、外遊びなどでよく体を動かすよう働きかけている。 A : 30.7 B : 41.6 C : 25.6 D : 2.1	児童に外遊びなどで体を動かすよう働きかけている。 A : 38.7 B : 51.6 C : 9.7 D : 0.0
	好き嫌いなく、給食を食べている。 A : 56.7 B : 29.9 C : 10.3 D : 3.1	子どもに、好き嫌いなく食べるよう働きかけている。 A : 37.0 B : 51.0 C : 11.7 D : 0.3	児童に、給食を好き嫌いなく食べるよう指導している。 A : 58.1 B : 41.9 C : 0.0 D : 0.0
	自分のことは、自分でしている。 A : 58.5 B : 34.8 C : 5.8 D : 0.9	子どもに、自分のことは自分でできるよう教えたり、見守ったりしている。 A : 31.7 B : 59.1 C : 8.8 D : 0.4	児童に、生きる力を育てることを目指し、自分のことは自分でできるよう指導している。 A : 54.8 B : 45.2 C : 0.0 D : 0.0
	登下校時や帰宅後も安全に気をつけている。 A : 73.1 B : 20.6 C : 4.3 D : 2.0	子どもが、登下校時や帰宅後も安全に気をつけているか見守ったり、声をかけたりしている。 A : 36.6 B : 55.4 C : 7.4 D : 0.6	児童に、登下校時や帰宅後も安全に気をつけるなど、安全指導を行っている。 A : 58.1 B : 41.9 C : 0.0 D : 0.0
その他		学校、学級だよりやホームページなどで学校の様子や取組が分かっている。 A : 14.7 B : 72.9 C : 11.3 D : 1.1	学校、学級だよりやホームページなどで学校の様子や取組を伝えている。 A : 18.8 B : 62.4 C : 18.8 D : 0.0
		PTA 活動や地域行事に参加・協力している。 A : 13.8 B : 53.1 C : 28.8 D : 4.3	PTA 活動や地域行事に参加・協力している。 A : 25.0 B : 34.4 C : 37.5 D : 3.1

【集計結果の考察】
 そう思う
 だいたいそう思う
 あまりそう思わない
 そう思わない

一思いやりの子 徳（豊かな心）について—

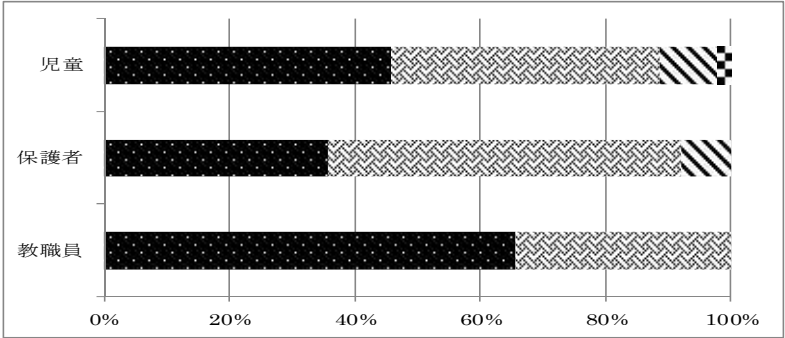
☆学校に来るのが楽しいこと

後期も前期同様「学校に来るのが楽しい」と感じている児童が多数いることはたいへんうれしいことです。しかし、10%あまりの児童が「(あまり) 楽しくない」と感じていることが分かりました。これは残念なことです。前期に比べ少し増えています。後期は、学習も複雑になってきます。このようなことから、以前に比べると楽しいと感じにくい児童がいるのかもしれません。すべての教職員が「児童に寄り添い、困ったことがあれば、何でも相談できる関係をつくるように努めている」と回答しています。今後も一人一人を見つめ、いかに寄り添い、学級・学校での居場所づくりをしていけばよいのかを考え、実行していかなければなりません。また、その児童のよさを活かすことができる機会を、意図的に授業はもちろん学級活動や学校行事等を通して、適切に与えることで成功体験や達成感・成就感を味わうことができるようにしていきたいと思います。



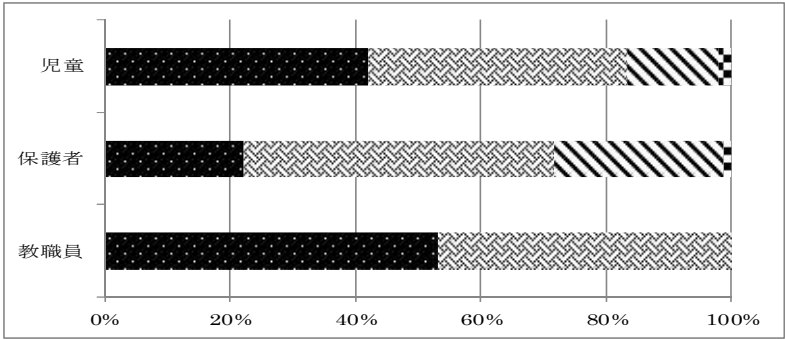
☆進んであいさつをしている

今回は約89%の児童が、「進んであいさつをしている」と回答しています。前期に比べると1%減です。保護者の回答は、「地域の人に進んであいさつするように家庭でもあいさつしている」としています。「あいさつが(あまり)できていない」としているのは、前期と変わらず10%ほどです。教職員の中や地域の方の中から「あいさつが返ってこないことが多い」という声が聞かれましたが、児童が自分たちのあいさつの仕方について客観的に見ることができてきたということなのかもしれません。自他共に気持ちのよいあいさつができるようにするにはどうすればよいのか考え、実行に移せるように指導していかなければなりません。あいさつは、人と人をつなぐ第一歩と言えます。身近にいる私たち大人が手本となり、気持ちのよいあいさつを交わすようにしたいものです。



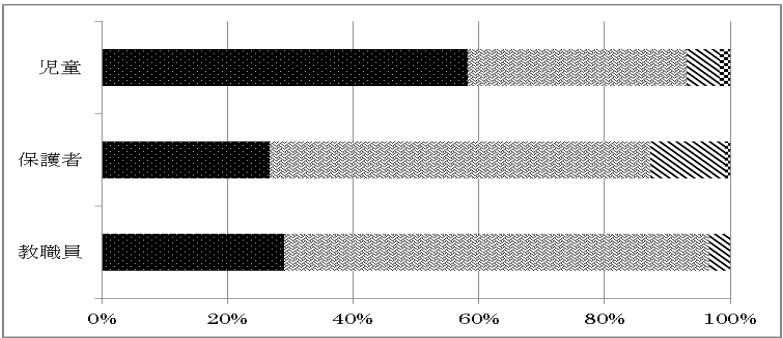
☆進んでそうじをしたり、スリッパやはきものをそろえたりしている

残念ながら、後期も他の項目に比べ、実現度が低い結果となりました。前期に比べるとさらに落ち込んでいます。逆に、保護者の「掃除やはきものをそろえる大切さを話している」という回答は、前期に比べ3%増えています。これもあいさつの項目同様、周囲からの声かけの中、自分の行動について客観的に見ることができてきたということかもしれません。しかし、自ら進んでトイレのスリッパを並べる児童の姿が見られるのも事実です。はきものをそろえることは心を整えることとよく言われます。逆に心の乱れははきものの乱れにつながります。特にトイレの状態を見れば、使用する者の状態が伝わってきます。掃除も同様です。次に使う人のことも考え、はきものをそろえたり、掃除をしたりすることは他人への思いやりでもあります。今後も続けて、児童への声かけをしていこうと思います。



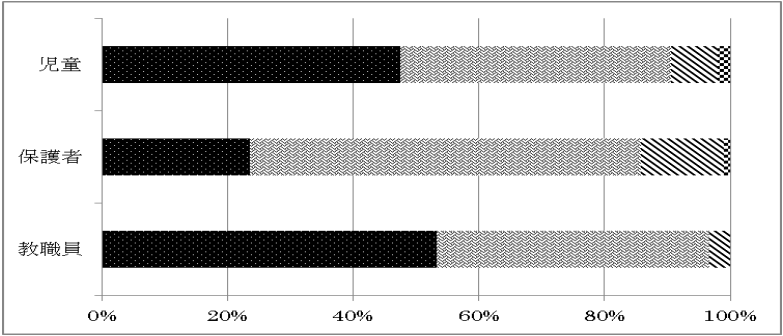
一自ら進んで学ぶ子 知（確かな学力）について一
☆学校の授業はよく分かる

「学校の授業はよく分かる」に関しての項目では、「学校に来るのが楽しい」の項目と比例するように、「分かる」と回答している児童は、前期に比べて1%減っています。昨年度の結果を見ても同じような傾向にあります。後期になると学習内容も複雑になってきますので、さらなる工夫と支援が必要です。分かると感じていない児童が増えているということを事実として受け止めなければなりません。教員が自らの指導力・授業力を高めるためにも、校内での研修を充実させるとともに、積極的に校外の研修にも参加していきたいと思います。



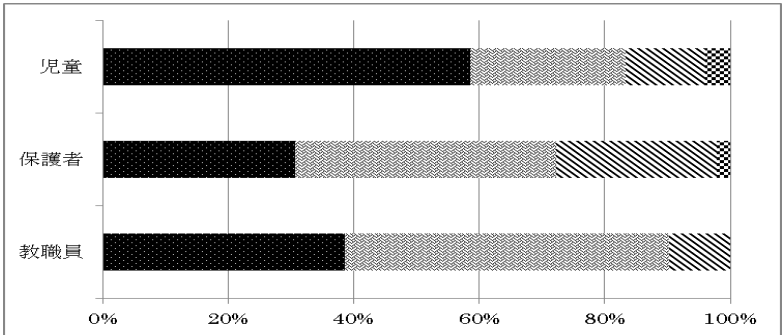
☆人の話を、最後まで聞いている

「人の話を、最後まで聞いている」に関しての項目では、前期と変わらず90%近くの児童が「聞いている」と回答しています。コミュニケーションはまず聞くことからだと思います。人が何を伝えようとしているのかをしっかりと聞き取る力を育て、同時に、自分の思いを伝える力も育みたいと思います。後期の「授業中、自分の考えを進んで話せる」に関しての項目は、進んで話せると回答した児童が、前期に比べ1%弱増えました。引き続き、授業を通して、子どもたちが主体的に考えを出し合い、他者を意識して互いに考えを深めたり振り返って判断したりしていくための学習集団をつくるよう意識して取り組んでいきます。



一体を大切にする子 体（健やかな体）について一
☆外遊びなどで、よく体を動かしていること

「外遊びで体を動かすこと」については、前期に比べ、2%弱ではありますが、実現度が若干改善しました。遊びは、子どもたちの「主体性」と「社会性」を育みます。火曜日の昼休みをロング昼休みにしたり、中間休みに体育館を開放したりするなどして、遊びの時間と場の設定をしています。体育科の学習はもちろんのこと、みんな遊びや縦割り活動を通して体を動かすことの楽しさを体感できるようにしていきます。おうちでも声かけをお願いいたします。



【保護者の皆様からのご意見】（紙面の都合上、ご意見の一部でありますことをご了承ください。）

部活動について「月曜日の休日が多く、活動が少ない。別の曜日に変えられないか」というご意見がありました。部活動の曜日を変更するか、月曜日が休日の時は振替にするか、来年度に向けて検討したいと思います。

今回も、登下校時の荷物の重さについてのご意見をいただきました。本校では、毎日持ち帰る物とそうでない物、学期毎に持ち帰る物を共通理解し、児童にも声かけをしております。今後も引き続きさらにより方法を検討していきたいと思います。

地震があった時の電話連絡について、緊急時でなかなか連絡がつかなかったことや学校の対応でご迷惑をおかけしたことがあったようです。申し訳ありませんでした。現在は、メール配信での連絡にしております。メール配信登録のご協力をよろしくお願いいたします。

持久走大会についてもご意見をいただきました。「走る児童が密集していて危険を感じた」とのことでした。児童が安全に楽しく参加できるように、走るコースや時間帯などについて話し合いたいと思います。

「人権学習参観後に行われた古森義和先生の一人芝居とワークショップはおもしろい取組。大変意義深かった」というお声をいただきました。これからも、「今、目の前にいる子どもたちに、わたしたち大人ができることは何か」を、保護者の皆様と一緒に考えていくことができるような取組を考え、実施していきたいと思います。

この他にも貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。来年度も、児童が元気に安心して学校生活を送ることができるように、教職員一同、努力して参ります。

【学校評価委員会の皆様のご意見】（紙面の都合上、ご意見の一部でありますことをご了承ください。）

- ・「進んであいさつしている」の項目について、もっと具体性がある方がよいのではないかと。誰に対してのあいさつなのかわかりにくい。また、「出会った人に…」という言葉や「自分のために活動や行動をしてくれている人に」あいさつができていない。
- ・保護者自身があいさつできているかを問うてみたら、どんな結果になるのだろうか。地域全体であいさつをする取組をもっと考えていった方がよい。
- ・「学校が楽しい」という項目で約10%の児童があまり楽しくないと答えたのは、何が原因だろうか。学習内容が複雑になってきたことだけでなく、友だちどうしの人間関係も複雑になり悩むことも増えてくることも要因ではないか。毎年クラス替えをしていることで、人間関係を構築できないのではないかと。
- ・できるだけ多くの人とかかわることができるようにという考えで1年ごとのクラス替えを行っていることは理解できる。
- ・たてわり活動は、とてもよい取組だと思う。児童の成長に対して大きな役割を果たしている。
- ・授業参観等での保護者のマナーが気になる。地域やPTAからの声かけを今以上にしていける必要がある。

京都はぐくみ憲章

～ 子どもを共に育む京都市民憲章 ～



わたしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日（育児・こころ・笑顔の日）制定
3月13日 京都市会が憲章推進を決議